

【研究シーズテーマ】

介護施設におけるロボットセラピー・レクリエーションシステム

 工学部 電気システム工学科 准教授 **板井 志郎**


複合領域

Keyword

認知症高齢者／介護ロボット／コミュニケーション



【研究シーズの概要】

介護施設では、認知症対策やQOLを高める観点から、レクリエーションが重要な役割を果たしています。本シーズは、ロボットを活用した「介護サービスの質の向上と介護職員の負担軽減を両立」させるレクリエーションプログラムです。簡単な操作で運用可能なロボットが、利用者(認知症高齢者)を引きつけます。本プログラムは、利用者のBPSDの低減や、介護職員と利用者の親密な人間関係の構築に貢献できます。



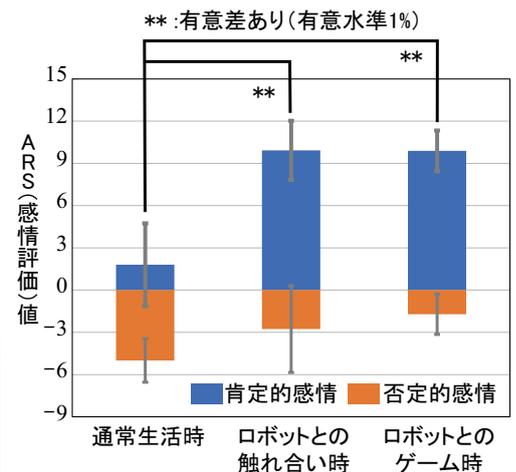
(a) ロボットとの触れ合い



(b) ロボットと体操



(c) ロボットとボールゲーム



**認知症者の肯定的な感情が
ロボレク時に有意に増大**

【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 小道具の作製等の事前準備なしで、どの介護職員でもレクリエーションを運営可能です。
- ロボットの司会や笑いで場が盛り上がるので、介護職員は利用者のサポートに集中できます。
- ロボットのパフォーマンスで、介護のすき間(利用者の待ち時間)を埋めます。

【産業界での展開・用途】

- 介護施設(特養・グループホーム等)での定期的なレクリエーションの実施

連絡・問合せ先

広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp